

●校内別室指導推進事業

活動・取組み内容

成果/好影響・次年度以降の方針・利用者の声

活動・取組み内容

【導入前】

- 校内別室に来室して、対面で教員や支援員とのコミュニケーション

【導入初期】

- チャット機能やリアクション機能を活用し、VLP空間内で教員や支援員との簡単なコミュニケーション

【運用期】

- オンライン学習教材等やTeamsを活用した学習支援
- 支援員や教員との個別の面談等の実施



成果/好影響

- ✓ 令和6年度は、導入初年度ということもあり、各校が高等学校での活用方法等について検討していく段階であった。
- ✓ 小学校から不登校で、学習の遅れと共に、集団生活に不安を抱えている生徒が、VLP空間内でアバターを介してコミュニケーションを取れるようになったことで、少しずつ教室での授業に参加できるようになった。

次年度以降の方針

活用の推進に向けた取組の充実

- ✓ VLPを活用する目的を、多くの別室利用生徒が理解し、多くの生徒が活用できるように、学校間で取組事例や活用方法について情報共有を行っていく。
- ✓ 生徒や保護者のニーズを基に、VLP空間内でのイベント等を事業プロモーターと連携して実施していく。

利用者の声



児童・生徒

バーチャル空間で作成した自分のアバターで、簡単なリアクションやスタンプを使って、少しずつ自分の気持ちを表現することができるようになった。



教職員や保護者等

学校に通えていなくても、生徒と学校のつながりを絶やさないシステムがあることにより、本人と社会をつなげるきっかけとなっている。